

2017年3月29日

報道関係者各位

田辺三菱製薬株式会社  
第一三共株式会社

**田辺三菱製薬と第一三共、糖尿病領域における戦略的提携を拡大  
選択的DPP-4阻害剤「テネリア<sup>®</sup>錠」、SGLT2阻害剤「カナグル<sup>®</sup>錠」に続き、  
2型糖尿病治療用配合剤「MT-2412」の販売提携契約を締結**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、社長：三津家正之、以下「田辺三菱製薬」）と第一三共株式会社（本社：東京都中央区、社長：中山譲治、以下「第一三共」）は、このたび、糖尿病領域における戦略的提携を拡大し、田辺三菱製薬が国内において申請中の2型糖尿病治療用配合剤「MT-2412」について、販売提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約に基づき、田辺三菱製薬が本剤の製造販売承認を取得後、第一三共が販売を行い、医療機関への情報提供活動については両社共同で実施します。

MT-2412は、選択的DPP-4阻害剤「テネリア<sup>®</sup>錠（一般名：テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物）」とSGLT2阻害剤「カナグル<sup>®</sup>錠（一般名：カナグリフロジン水和物）」の配合剤です。「テネリア<sup>®</sup>錠」、「カナグル<sup>®</sup>錠」はともに医療現場ではすでに多くの患者さんに処方いただいております。それぞれ単剤での処方のみならず、併用による処方も増加しつつあります。両剤を配合し1剤にすることで、両剤を併用処方中の患者さん、ならびに併用処方が検討されている患者さんにおいて、利便性が高まり、服薬アドヒアランスの向上が期待されます。

田辺三菱製薬と第一三共は、2012年3月、「テネリア<sup>®</sup>錠」と「カナグル<sup>®</sup>錠」の販売提携契約を締結し、「テネリア<sup>®</sup>錠」は第一三共が、「カナグル<sup>®</sup>錠」は田辺三菱製薬がそれぞれ販売し、両剤に関する医療機関への情報提供活動については両社共同で実施しています。

田辺三菱製薬と第一三共は、2型糖尿病治療における新たな選択肢を提供するとともに、両社の連携による迅速かつ適正な情報提供活動を行うことで、より一層糖尿病の治療に貢献していきたいと考えています。

本件に関するお問合せ先	
田辺三菱製薬株式会社 広報部 TEL：06-6205-5211	第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 報道関係者の皆様 TEL：03-6225-1126 株式市場関係者の皆様 TEL：03-6225-1125